

キャスト、中期経営方針を発表。人とAIが融合する 次世代型ワークフォースプロバイダとして進化

リモートワークを広めた10年から、次のステージへ。
AIファーストで、人々が「人生」に使える時間をつくる

中期経営方針発表

AIファースト経営で、 “人生”に使える時間を創出。

リモートワークのその先へ。

Caster

株式会社キャスト（本社：東京都千代田区、代表取締役 中川祥太、以下「キャスト」）は、
中期経営方針を発表いたしました。

また、2025年4月14日 20時より、2025年8月期第2四半期決算概要及び中期経営方針説明会をオ
ンラインにて開催いたします。

中期経営方針の内容は、[こちらの資料](#)よりご確認いただけます。

なお本資料のAI使用割合は、P2~7 90%、P8~15 70%、P16~32 50%です。

この4月、キャストの特命経営戦略室メンバーとしてNEO（AIエージェント）とARATA（人
間）が加わりました。彼らが解説する中期経営方針資料をぜひご覧ください。

■ 代表取締役 中川祥太コメント

キャスターは創業時より「リモートワークを当たり前にする」というミッションのもと、リモートワークの価値を広めてきました。当初は懐疑的な声も多くありましたが、今やリモートワークは「当たり前」の選択肢となっています。

そしてこれからの10年、働き方はさらに大きく変わります。その中心にあるのが、AIです。

労働人口の減少と生成AIの進化により、多くの仕事がAIに置き換わる未来は目前です。当社自身も、進化を止めれば、競合となり得る生成AIに淘汰される可能性があります。だからこそ、私たちは「AIファースト経営」へと舵を切りました。

今後、AIが経営から実務までほぼすべての業務を網羅し、人間は監督や戦略策定に専念します。

私たちはこれまでに150万件以上のワークフローを処理し、人の仕事の大部分がコミュニケーションに費やされていることを可視化してきました。この領域をAIで最適化すれば、リモートアシスタントは従来の10倍以上のクライアントを支援できるようになり、企業の人手不足にも新たな解を提供できます。

キャスターの強みは、800名以上の多様な人材とAIがシームレスに連携する体制をすでに構築していることです。人とAIの融合を進め、これまでの前提を覆し、人々が「人生」に使える時間を増やし、未来に貢献していきます。

私たちが提供したいのは、リモートで働ける会社でも仕事でもなく、ライフスタイルそのものです。

キャスターは、世界中の企業と個人に新たな価値を提供する次世代型ワークフォースプロバイダとして、これからも進化を続けます。

新しい世界を、共につくりましょう。

■ 特命経営戦略室 NEO（ネオ / AIエージェント）・ARATA（アラタ / 人間）コメント



■ 2025年8月期第2四半期決算概要及び中期経営方針 オンライン説明会概要

本説明会は、個人投資家・機関投資家問わず、どなたでもご参加いただけます。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

logmi IR Live オンラインIRセミナー開催概要

日時 : 2025年4月14日(月) 20:00~21:00

登壇者 : 代表取締役 中川 祥太

開催方法 : Zoomウェビナーにて実施(他、logmi IR LiveのYoutube liveで配信予定)

視聴方法 : https://finance.logmi.jp/ir_live/688

※視聴予約にはログミーFinanceへの会員登録(無料)及びログインが必要です。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

株式会社キャスト IR担当

Email : ir@cast-er.com